

(3) 天然記念物

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
1	三峯モミ	1本	三峯神社の鐘楼の傍らにある。指定時にはモミ属の1種とされていたが、現在はモミとウラジロモミの雑種と考えられている。樹高30.7m、幹周り3.0m (H22時点)。	秩父市三峰 298-1 (35.9262, 138.9302)	三峯神社	大11・3・29		秩父鉄道 三峰口駅
2	上谷の大クス	1本	関東内陸では珍しいクスノキの巨木であり、幹周り県内最大(環境庁, H3)。指定時の樹高は約29m、幹周り12.4m。現在の樹高は27.5m、根周り16.0m (H22時点)。	入間郡越生 町上谷1316 -ロ (35.9804, 139.2540)	個人 (越生町)	大11・3・29		J R八高線 東武越生線 越生駅
3	タラヨウジュ	1本	タラヨウの古木。指定時の樹高は約18.2m、幹周り2.7m。現在の樹高は12.0m、幹周り3.4m (H25時点)。慈覚大師(円仁、794-864)手植えとの伝説もある。	比企郡とき がわ町西平 386 (36.0114, 139.2322)	慈光寺	大14・3・31		J R八高線 明覚駅
4	カヤ	1本	慈光寺七木の1本とされるカヤの巨木。指定時の樹高は約15.2m、幹周り6.1m。現在の樹高は17.4m、幹周り6.6m (H24時点)。	比企郡とき がわ町西平 3965 (35.9953, 139.2420)	西平施業林 組合	大14・3・31		J R八高線 明覚駅
5	勤兵衛マツ		日光脇往還にある松並木。江戸時代には100本以上あったといい、指定時には39本を数えたが、台風被害等により現在はクロマツ1本になってしまった。樹高11.7m、幹周り2.4m (H22時点)。	羽生市上新 郷6550 (36.1833, 139.5054)	埼玉県 (羽生市)	大15・2・19		秩父鉄道 新郷駅
6	伊古乃速御玉比売神社社叢		滑川の右岸台地上に位置する。常緑広葉樹アラカシが優占し、アカシデや直径1mほどのモミなども生育する。地域の潜在自然植生をうかがい知る上で重要な群落。	比企郡滑川 町伊古 1241、1242 (36.0742, 139.3397)	伊古乃速御 玉比売神社	昭6・3・31		東武東上線 森林公園駅
7	入西のビャクシン	1本	高麗川の段丘に位置する石上神社境内にある、イブキの古木。指定時の樹高は約12m、幹周り約3m。現在は、樹高14.1m、幹周り3.8m (H22時点)。別称「ねじれっ木」と呼ばれる。	坂戸市北大 塚138 (35.9567, 139.3681)	石上神社	昭6・3・31		東武東上線 坂戸駅
8	ステゴビル		明治39年に金山神社境内に自生するのが発見された、ヒガンバナ科の多年草ステゴビルの自生地。ステゴビルは本州中部に隔離的に分布し、その自生地は少ない。春に茎が伸び、夏にいったん枯れた後、花茎を伸ばして白い小さな花をつける。	坂戸市新堀 255-1 (35.9684, 139.3692)	金山神社	昭6・3・31		東武東上線 坂戸駅
9	滝の入タブの木	1本	タブノキは暖地の海岸沿いに多く、関東内陸では希少な巨木。浅間神社奥社から40mほど離れた東向きの山腹にある。指定時の樹高約24.5m、幹周り5.5m。現在は、樹高17.5m、幹周り6.9m (H22時点)。	飯能市上直 竹下分302 (35.8459, 139.2532)	富士浅間 神社	昭6・3・31		西武池袋線 飯能駅 J R八高線 東飯能駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
10	堂平ヒカリゴケ自生地		堂平山頂近くの東斜面、通称「籠穴」の岩陰に自生。平成10年度の調査では籠穴は見つからず、崩落したものと推察され、周辺の岩陰にヒカリゴケの生育が確認された。	比企郡小川町腰越	小川町	昭6・3・31		東武東上線 J R 八高線 小川町駅
11	脚折のケヤキ	1本	樹高約36m、幹周り7.2mの巨木として指定された。昭和47年の風雨により、枝周り3mもある大枝が幹の1/3を裂いて落下し、現在の樹高は約17m、幹周り7.2m。	鶴ヶ島市脚折6-10-9 (35.9414, 139.3899)	白鬚神社 (鶴ヶ島市)	昭7・3・31		東武東上線 坂戸駅
12	清雲寺のサクラ	1本	エドヒガンの枝垂れ桜の古木。文安3年、開山棟峯香禅師のお手植えともいわれる。指定時の樹高は約14.1m、幹周り4m。現在の樹高は12.5m、幹周り3.9m(H22時点)。	秩父市荒川上田野690 (35.9562, 139.0435)	清雲寺	昭7・3・31		秩父鉄道 武州中川駅
13	大川戸の大イチョウ	1本	八幡神社境内にある樹高約23.6m、幹周り8.5mのイチョウの巨木として指定された。萌芽幹が成長して主幹と融合し、現在の樹高は29.2m、幹周り8.9mとなっている。	北葛飾郡松伏町大川戸2414 (35.9468, 139.8061)	八幡神社	昭7・3・31		東武伊勢崎線 せんげん台駅
14	馬蹄寺のモクコク	1本	樹高8.2m、幹周り2.1mに達する盆栽状の美しい姿をしたモクコクの大木であるとして指定された。現在の樹高は12.5m、幹周り2.6m(H22時点)。	上尾市平方2088 (35.9462, 139.5520)	馬蹄寺	昭7・3・31		J R 高崎線 上尾駅
15	並木の大きクス	1本	樹高約31m、幹周り4.2mのクスノキの巨木として指定された。当時は農家の前にあったが、現在は並木の大きクス公園として整備されている。現在の樹高は29.5m、幹周り6.3m(H22時点)。	川越市並木277 (35.9015, 139.5211)	川越市	昭9・3・31		J R 川越線 南古谷駅
16	萬松寺のシイ	1本	万松寺境内に幹周り5m・5.7mの2本のスダジイが指定されていた。現在残る1本は、樹高5.5m、幹周り6.6m。上部の大枝は全て枯れ、10数本の萌芽幹が旺盛に茂り往時の姿を物語っている(H22時点)。	東松山市柏崎341 (36.0258, 139.4244)	万松寺	昭10・3・31 (一部解除) 平13・3・16		東武東上線 東松山駅
17	金仙寺枝垂サクラ	1本	指定時は根元から3本に分かれ、総根周り4.8m、最大樹高約9mのエドヒガンの枝垂れ桜の老樹であった。現在は1本のみで、樹高6.3m、幹周り3.4m(H22時点)。	秩父市下影森6650 (35.9869, 139.0700)	金仙寺	昭10・3・31		秩父鉄道 影森駅
18	古寺鍾乳洞		槻川の支流、金嶽川の左岸にある秩父層群中の石灰岩の崖に開口する、横穴型鍾乳洞。石筍や鍾乳石の発達はよくないが、総延長約220mと規模が大きく、形成期が新しい(完新生)点の特徴。現在閉鎖されており見学できない。	比企郡小川町古寺176 ほか (36.0391, 139.2383)	小川町	昭11・3・31		東武東上線 J R 八高線 小川町駅
19	橋立鍾乳洞		武甲山をつくる石灰岩体の西側にある、縦穴型鍾乳洞。見学路の総延長は130~140m、比高は30m。洞窟生成物の発達は良いが、成長は停止している。県内唯一の観光洞。	秩父市上影森708 (35.9604, 139.0609)	大淵寺	昭11・3・31		秩父鉄道 浦山口駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
20	長徳寺のビャクシン	1本	長徳寺本堂の南側にあるイブキの大木。建長寺(鎌倉市)のイブキの実生由来といわれる。指定時の樹高は13m以上、幹周り3.3m。現在の樹高は14m、幹周り3.8m。	川口市芝6303 (35.8413, 139.6905)	長徳寺	昭12・3・31		J R京浜東北線 蕨駅
21	子の権現の二本スギ		かつては、樹高約37m・幹周り7.3m、樹高約24m・幹周り5.2mの南北2本あった。北側の1本はH14の台風で最後の大枝が折れて枯れ、現在は南側の1本が残る。樹高25.2m、幹周り7.9m(H22時点)。	飯能市南461 (35.9063, 139.1901)	子ノ権現 天竜寺	昭13・3・31		西武秩父線 西吾野駅
22	国神の大イチョウ	1本	古墳脇に植えられたといわれる、樹高約36m、幹周り8.2mの巨木。主幹の大部分は失われたが、萌芽幹が成長し、大きな樹体を作っている。現在の樹高は27m、幹周り8.7m(H22時点)。	秩父郡皆野町国神577-2 (36.0813, 139.0915)	皆野町	昭15・3・31		秩父鉄道 皆野駅
23	下里の大モミジ	1本	かつては樹高約7.2m、幹周り3.9mの立派なイロハモミジであったが、現在は主幹は失われ、樹高5.6m、幹周り1.5mとなっている。	比企郡小川町下里2582 (36.0456, 139.2768)	個人 (小川町)	昭16・3・31		東武東上線 J R八高線 小川町駅
24	久伊豆神社のフジ	1本	久伊豆神社の参道脇にある、花房が1mに及ぶノダフジの園芸品種。株周りは7.3m、地際で多数分岐し、枝張り東西14.5m、南北27.2mに及ぶ。	越谷市越ヶ谷1700 (35.9012, 139.7903)	久伊豆神社	昭16・3・31		東武伊勢崎線 越谷駅
25	多聞寺のムクロジ	1本	多聞寺境内にあるムクロジの古木。かつては樹高約27m、幹周り3.6mあった。現在は主幹上部が失われて胴吹き枝葉により生存。樹高8.3m、幹周り4.1m(H22時点)。	北本市本宿2-37 (36.0302, 139.5374)	多聞寺	昭16・3・31		J R高崎線 北本駅
26	見返坂の飯能ササ		日本近代植物学の黎明期、1926年に牧野富太郎博士が発見・命名した。現在ではアズマザサに含めるのが一般的だが、クマザサ・ミヤコザサの雑種とする説もある。	飯能市飯能1119-1 (35.8646, 139.3063)	西武鉄道 株式会社 (飯能市)	昭16・3・31		西武池袋線 飯能駅 J R八高線 東飯能駅
27	道元平ウラジロ群落		暖地性の常緑のシダ植物で、西日本には多産し、正月飾りにも使われる。県内の自生地は県西南部の山あいによく、太平洋側内陸部の自生の北限に近い大規模な群落である。	比企郡ときがわ町田黒 (36.0256, 139.2960)	個人	昭18・3・31		東武東上線 武蔵嵐山駅
28	光照寺コウヤマキ	1本	光照寺参道脇にあるコウヤマキの古木。かつて樹高20m以上あったというが、現在は樹勢が衰え、樹高18.7m、幹周り3.9m(H22時点)となっている。	桶川市加納1906 (36.0298, 139.5628)	光照寺	昭18・3・31		J R高崎線 桶川駅
29	蓮花院のムク	1本	蓮花院本堂前にある、樹高約27m、幹周り6mの県内随一のムクノキの巨木として指定された。現在の樹高は28.5m、幹周り6.9m(H22時点)。	春日部市大衾53 (35.9802, 139.8015)	蓮花院	昭19・3・31		東武野田線 南桜井駅
30	駒つなぎのケヤキ	1本	今宮神社中央の池畔にある、樹高約25.4m、幹周り7.3mのケヤキの巨木として指定された。主幹は失われ大枝が南北に伸び、特徴的な樹形となっている。現在の樹高は20m、幹周り9.1m(H22時点)。	秩父市中町16-10 (35.9947, 139.0799)	秩父市	昭19・3・31		秩父鉄道 御花畑駅、 西武秩父線 西武秩父駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
31	高山不動の大イチョウ	1本	本堂下の広場と斜面の境にある巨木。気根が発達し「子育てイチョウ」とも呼ばれる。指定時の樹高は約37m、幹周りは9.7m、現在の樹高は34.5m、幹周り10.1m (H22時点)。	飯能市高山347-2 (35.9397, 139.2189)	常楽院	昭22・3・25		西武秩父線 西吾野駅
32	土屋神社神木スギ	1本	古墳上に祀られている土屋神社殿裏のご神木。樹齢は1千年を超え、落雷などにより白骨化した部分が多いが、様々な樹勢回復措置がとられ樹勢は維持されている。樹高26m、幹周り8.6m (H22時点)。	坂戸市浅羽野2-2-11 (35.9524, 139.3813)	土屋神社	昭23・3・17		東武東上線 坂戸駅
33	西善寺のコミネカエデ	1本	西善寺本堂前にあるカエデの古木。樹種はイロハモミジ系とみられる。指定時の樹高は約8m、幹周り2.8m、現在の樹高は7.3m、幹周り3.9m (H22時点)。	秩父郡横瀬町横瀬598 (35.9730, 139.1089)	西善寺	昭25・3・30		西武秩父線 横瀬駅
34	妙行寺のモクコク	1本	境内の塚にあるモクコクの古木。樹高約19.7m、幹周り3.4mの大木だったが、現在は幹が枯れ、胴吹き枝葉により維持されている。樹高10.7m、幹周り3.6m (H22時点)。	さいたま市中央区鈴谷4-15-2 (35.8727, 139.6265)	妙行寺	昭25・3・30		J R 埼京線 南与野駅
35	飯能の大ケヤキ	1本	樹高約24m、幹周り6mのケヤキの大木として指定された。飯能市街の神明神社境内にある。現在の樹高は30.5m、幹周り7.8m。ケヤキらしい箒状の樹形を保っている。	飯能市川寺392 (35.8465, 139.3247)	神明神社	昭26・3・31		西武池袋線 飯能駅 J R 八高線 東飯能駅
36	ヒカゲツツジ		関東以西の山地の岩場などに自生する、シャクナゲに似た形状のクリーム黄色の花をつける常緑低木ヒカゲツツジの自生地。指定地は観音山の稜線東側にあり、珪石採掘の鉱区の中で保護されている。	秩父郡東秩父村御堂 (36.0492, 139.1835)	東秩父村	昭26・3・31		東武東上線 J R 八高線 小川町駅
37	ツゲ	1本	宅地山側に位置する樹高約5m、幹周り0.5mのツゲの大木として指定された。現在は近くに歩道だけがあり、樹高は12.5m、幹周り0.9m (H22時点)となっている。	秩父郡東秩父村白石917 (36.0223, 139.1730)	個人	昭26・3・31		東武東上線 J R 八高線 小川町駅
38	皆谷のサカキ	1本	宅地裏の小さな社にある、樹高約10m、幹周り1.2mのサカキの大木として指定された。現在は民家はなくなったが、樹高15.8m、幹周り1.6m (H22時点)とその樹容を保っている。	秩父郡東秩父村皆谷76-1 (36.0438, 139.1796)	個人	昭26・3・31		東武東上線 J R 八高線 小川町駅
39	ミミカキグサとモウセンゴケ自生地		湿地性の食虫植物の自生地。かつて丘陵域各地の谷津田の水路脇や畔などに見られたが、生産活動の変化により激減。ミミカキグサ・ホザキノミミカキグサは県内では絶滅、指定地ではモウセンゴケのみ辛うじて維持されている。	大里郡寄居町鉢形 (36.0986, 139.2072)	日本デベロ株式会社 (寄居町)	昭26・3・31 (追加指定及び一部解除) 平4・3・11		東武東上線 鉢形駅
40	菖蒲のフジ	1本	花穂の長さが1mにもなるノダフジの園芸品種。7本ほどの幹からなり、根周り4.5m、棚は13.7m×19mほど (H22時点)。	久喜市菖蒲町菖蒲552 (36.0677, 139.6041)	菖蒲神社 (久喜市)	昭27・3・31		J R 宇都宮線 東武伊勢崎線 久喜駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
41	大宮藤園のフジ	3本	花穂の長さが1.2mを超えるノダフジの園芸品種で、3本とも幹周り2mに及ぶ大木であるとして指定された。昭和40年に北区東大成町から現在地へ移植され、「青葉園のフジ」と呼ばれるようになった。	さいたま市 大宮区三橋 5-934 (35.9064, 139.5924)	青葉園	昭28・3・26	埼玉指 第4号	J R川越線 西大宮駅
42	ゴヨウツツジ自生地		釜伏山北方の断崖に、最大根周り1.5mに及ぶシロヤシオ(ゴヨウツツジ)30数本をはじめ、ツツジ類が数百本群生した。現在、遷移の進行などによりシロヤシオは減少したが、ミツバツツジ等のツツジ科低木の群生が見られる。	大里郡寄居 町風布 (36.0963, 139.1449)	個人 (寄居町)	昭29・3・4	埼玉指 第18号	秩父鉄道 波久礼駅
43	加須の浮野とその植物		氷期に形成された谷の上に泥炭が積もってきた泥炭層が厚く堆積した湿原であり、かつては地域一帯が浮き上がったといわれる。関東平野では希少な北方系の湿原植物トキソウ等希少野生植物が生育する。	加須市北篠 崎606、607 ほか (36.1330, 139.6292)	加須市 ・個人	昭29・10・23	埼玉指 第33号	東武伊勢崎線 加須駅
44	満蔵寺のお葉附イチョウ	1本	葉の上に実をつける珍しいイチョウ。樹形にも特徴があり、枝が水平から斜め下に伸張する。指定時の樹高は28m、幹周り3m、現在の樹高は19.6m、幹周り3.16m(H22時点)。	春日部市新 方袋253 (35.9793, 139.7302)	満蔵寺	昭29・10・23	埼玉指 第34号	東武野田線 豊春駅、 八木崎駅
45	碓神社のイヌグス	1本	古利根川の右岸にある、関東内陸では珍しいタブノキの巨木。指定時の樹高は12.1m、幹周り4.3m、現在の樹高は7.5m、幹周り4.77m(H22時点)。	春日部市粕 壁東2-2 (35.9827, 139.7573)	個人	昭30・11・1	埼玉指 第56号	東武伊勢崎線 野田線 春日部駅
46	両神のフクジュソウ群落		春植物フクジュソウの自生地。秩父は戦前までフクジュソウの本場として知られ、秩父の名を冠した園芸品種もある。標高600~1000mの山中、6か所が指定されている。	秩父郡小鹿 野町両神小 森、両神薄 6か所が指定されている。	個人	昭30・11・1 (名称変更) 平23・3・18	埼玉指 第57号	秩父鉄道 三峰口駅
47	黒山の特殊植物群落		黒山三滝近くの岩壁に、暖地性シダ植物のアオネカズラやシシランが生育する。アオネカズラは自生の北限であり、県内希少野生動物種保護条例の指定種にもなっている。	入間郡越生 町黒山 (35.9419, 139.2439)	(黒山区)	昭31・11・1 (追加指定) 昭33・3・20	埼玉指 第87号	J R八高線 東武越生線 越生駅
48	清河寺の大ケヤキ	1本	屋敷林中の神明社にある、樹高32m、幹周り8.5mのケヤキの巨木として指定された。主幹は折損したが大枝で樹勢が維持されており、現在の樹高は32.4m、幹周り8.3m。	さいたま市 西区清河寺 778-2 (35.9358, 139.5836)	個人	昭33・3・20	埼玉指 第111号	J R川越線 西大宮駅
49	倉田の大カヤ	1本	明星院本堂西の竹林中にある樹高31.4m、幹周り5.7mのカヤの名木として指定された。現在は周囲の竹は伐開され、樹高は29.7m、幹周り5.9mとなっている。	桶川市倉田 150 (36.0106, 139.5886)	明星院	昭33・3・20	埼玉指 第113号	J R高崎線 桶川駅
50	骨波田のフジ	1本	本堂向かって左手にある、根周り3.5mのノダフジ。大小7本の幹からなり、花房2mに達することもあるという。現在の根周りは3.4m、棚の広さは22.3m×20.5mほど(H22時点)。	本庄市児玉 町高柳901 (36.1732, 139.1072)	長泉寺	昭34・3・20	埼玉指 第131号	J R八高線 児玉駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
51	秩父神社柞の森の ブッポウソウ		ブッポウソウは嘴と脚が赤く全身が青緑色のキジバト大の夏鳥であり、古来霊鳥とされる。市街地における貴重な営巣地であるとして指定された。	秩父市番場町1-1 (35.9982, 139.0841)	秩父神社	昭35・3・1	埼玉指第145号	秩父鉄道 秩父駅
52	若御子断層洞及び 断層群		若御子山北北西の山麓にある、秩父層群に属するチャート中にある断層洞。断層によって生じた破碎帯の粘土や角礫が、地下水などによって浸蝕されて生じた。	秩父市荒川上田野 2334、2335のイ、ロ (35.9545, 139.0437)	清雲寺ほか	昭35・3・1	埼玉指第146号	秩父鉄道 武州中川駅
53	てんぐ岩のムカデラン		暖地性の気生ラン。天狗岩の南南西～南南東の12m×23.5mの範囲に生育し、自生の北限地として指定された。現在は、イワヒバ等と混生し、範囲は4m×6mほど(H22時点)。	秩父市吉田阿熊1345 (36.0681, 139.0306)	個人	昭36・3・1	埼玉指第157号	秩父鉄道 皆野駅
54	久那のステゴビル		ヒガンバナ科の多年草ステゴビルの自生地。本州中部に隔離的に分布し、その自生地は少ない。春に葉が出て夏には枯れ、その後花茎を伸ばして白い小さな花をつける。	秩父市久那2551ほか (35.9703, 139.0444)	個人	昭36・3・1 (追加指定) 平31・2・22	埼玉指第158号	秩父鉄道 浦山口駅
55	大高取山のコシダ群落		暖地性の常緑のコシダ植物であり、関東内陸に位置する県内の自生地は限られる。指定地は大高取山東部の山腹南斜面にあり、面積約2ha。ウラジロも生育する。	入間郡越生町上野 (35.9628, 139.2878)	越生町	昭39・3・27	埼玉指第180号	J R八高線 東武越生線 越生駅
56	三境のヒカリゴケ自生地		都幾川支流の源流部の谷に開口した間口15m、高さ1.5m、奥行3～4mほどの岩窟内に生育。関東平野中央の丘陵域に自生するのは貴重として指定された。	比企郡ときがわ町西平 (35.9867, 139.2203)	個人・国	昭39・11・17	埼玉指第198号	J R八高線 明覚駅
57	金鑽神社のクスノキ	1本	樹高20m、幹周り5.1m、暖地性の樹木クスノキが県北において巨木となったのは貴重として指定された。現在の樹高は28.5m、幹周り6.3m(H22時点)。	本庄市千代田3-2-3 (36.2430, 139.1773)	金鑽神社	昭44・3・31	埼玉指第232号	J R高崎線 本庄駅
58	城山稲荷神社のケヤキ	1本	社殿正面にあり、樹高30m、幹周り6.4mのケヤキの巨木として指定された。H9の台風などにより主幹が被害を受け、現在の樹高は24.5m、幹周り6.9mとなっている(H22時点)。	本庄市本庄3-5 (36.2437, 139.1922)	城山稲荷神社	昭44・3・31	埼玉指第233号	J R高崎線 本庄駅
59	密蔵院のイチョウ	1本	中川左岸の自然堤防上に位置し、高さ30m、幹周り5.3m、雌木としては珍しい巨木として指定された。子育てイチョウとも呼ばれる。現在の樹高は28.8m、幹周り5.4m(H22時点)。	吉川市高久1-18-2 (35.8680, 139.8411)	密蔵院	昭47・3・28	埼玉指第257号	J R武蔵野線 吉川駅
60	徳星寺の大カヤ及び暖帯林		樹高21m、幹周り5.1mの盤根をもつカヤの巨木と、シラカシ・スダジイ・ヤブツバキ・ヒサカキ等からなる暖温帯林として指定された。現在のカヤは樹高21.8m、幹周り5.5m(H22時点)。	上尾市畔吉751ほか (35.9646, 139.5421)	徳星寺	昭48・3・9	埼玉指第265号	J R高崎線 上尾駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
61	梅園神社のスタジイ林		急峻な斜面に成立したスタジイ・ヒノキ・アラカシ・サカキ等からなる暖温帯性常緑広葉樹林であり、地域の自然植生を推定する上で重要。中間温帯林の構成種も見られる。	入間郡越生町小杉1、2 (35.9720, 139.2756)	梅園神社	昭49・5・28	埼玉指第272号	J R八高線 東武越生線 越生駅
62	南川のウラジロガシ林		大山祇神社の社叢。ウラジロガシを主体とし、ツクバネガシ・ヤブツバキ・ヒサカキ等からなる暖温帯性常緑広葉樹林。小規模であるが地域の自然植生を推定する上で重要。	飯能市南川1521ほか (35.9170, 139.1724)	個人	昭49・5・28	埼玉指第273号	西武秩父線 西吾野駅
63	神明神社の社叢		境内林と参道林からなる。遷移途上だが東部低地でまとまった林分は貴重であり、自然植生を推定する上で重要として指定された。現在はスタジイ・ヒノキ・ムクノキ等が優占(H22時点、境内西側)。	久喜市菖蒲町上栢間3366ほか (36.0459, 139.5756)	神明神社	昭52・3・29	埼玉指第292号	J R高崎線 桶川駅
64	元荒川ムサシトミヨ生息地		元荒川源流の約400mが指定地。ムサシトミヨは体長約5cmのトゲウオ科トミヨ属の希少淡水魚。埼玉～東京の湧水源をもつ細流に生息したが、現在は元荒川源流が唯一の生息地。世界的に見てもトミヨ属の南限に近く貴重。	熊谷市久下、佐谷田 (36.1319, 139.3968)	熊谷市	平3・3・15 (追加指定) 平8・3・19	埼玉指第374号	J R高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
65	桂木のタブノキ林		タブノキ林は暖地海岸沿いに多く、関東内陸では希少な群落。地域の原植生を指標する上で重要。傾斜地にあり、タブノキ・スタジイ・モチノキ等が高木層を構成。	入間郡毛呂山町滝ノ入846 (35.9478, 139.2755)	個人	平3・3・15	埼玉指第375号	J R八高線 毛呂駅、 東武越生線 東毛呂駅
66	萩日吉神社社叢		アカガシと結びついたモミ壮齢林は関東では希少であり、暖温帯上部の特徴を示しており生態学的に重要。「児持杉」と呼ばれるスギの大木を含む。	比企郡ときがわ町西平字宮平1198-1ほか (35.9968, 139.2387)	萩日吉神社	平4・3・11	埼玉指第391号	J R八高線 明覚駅
67	大久保の大ケヤキ	1本	県内のケヤキの中で、幹周りでは最大の巨木。日枝神社参道脇にある。指定時の樹高約20m、幹周り9.4m。現在の樹高は25.1m、幹周り9.8m(H22時点)。	さいたま市桜区大久保領家433-4 (35.8667, 139.6043)	日枝社	平6・3・16	埼玉指第415号	J R埼京線 与野本町駅
68	下里のスタジイ林		槻川左岸の愛宕山山頂、かつてあった愛宕神社の社叢。県内最大規模のスタジイ林であり、地域の原植生を示すものとして重要。暖温帯常緑広葉樹林の中核といえるスタジイ林の、内陸部における北限に近い。	比企郡小川町下里字愛宕山1939 (36.0406, 139.2863)	八宮神社 (小川町)	平8・3・19	埼玉指第437号	東武東上線 J R八高線 小川町駅
69	廣瀬神社の大ケヤキ	2本	入間川左岸に位置し、江戸時代後期(1810-1830)に編纂された『新編武蔵風土記稿』にも登場する。境内中央の木は樹高32m、幹周り6.3m、神楽殿横の木は樹高27m、幹周り6.1m(H22時点)。	狭山市広瀬2-1612 (35.8586, 139.3895)	廣瀬神社	平10・3・17	埼玉指第449号	西武新宿線 狭山市駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
70	正龍寺玉垂のカエデ	2本	主幹も支幹もよく屈曲し、枝垂れる優雅な樹形をもつ、県内では珍しいイロハモミジの品種。昭和13年指定の先代が枯死したことから、接ぎ木により特徴をよく引き継いだ2本が指定された。	大里郡寄居町藤田101 (36.1235, 139.1827)	正龍寺	平13・3・16	埼玉指第475号	J R八高線 秩父鉄道 東武東上線 寄居駅
71	無量院石重寺の夫婦ウメ	1本	枝垂れ性の八重咲き、花が2つ並んで咲き実を結ぶ。昭和14年指定の先代が枯死したことから、接ぎ木によって品種の特異性と優雅な樹形を引き継いだこの木が指定された。	児玉郡神川町新宿43-1 (36.1861, 139.0663)	石重寺	平13・3・16	埼玉指第476号	J R八高線 丹荘駅
72	玉敷神社のフジ	1本	神社に隣接する公園にあり、根周り4.8m、枝張り約700㎡、花房1mの県内でも有数のノダフジ園芸品種として指定された。現在の根周りは5.1m、6本程度の幹からなる(H22時点)。	加須市騎西535-1 (36.1073, 139.5708)	玉敷神社	平14・3・22	埼玉指第481号	東武伊勢崎線 加須駅
73	川本町産出カルカロドン メガロドンの歯群化石	7点	新生代新第三紀中新世の大型の肉食性サメの歯化石群。昭和61年、荒川河床の約1200万年前の地層から関根氏が発見し65点を採集、その後、内藤氏らにより8点が採集された。1個体分を網羅しており、学術上貴重。	秩父郡長瀬町長瀬1417-1	埼玉県 (県立自然の博物館)	平15・3・18	埼玉指第488号	秩父鉄道 上長瀬駅
74	川本町産出カルカロドン メガロドンの歯群化石	65点	新生代新第三紀中新世の大型の肉食性サメの歯化石群。昭和61年、荒川河床の約1200万年前の地層から関根氏が発見し65点を採集、その後、内藤氏らにより8点が採集された。1個体分を網羅しており、学術上貴重。	比企郡嵐山町菅谷	個人	平15・3・18	埼玉指第489号	(県立自然の博物館に 寄託)
75	川本町産出カルカロドン メガロドンの歯群化石	1点	新生代新第三紀中新世の大型の肉食性サメの歯化石群。昭和61年、荒川河床の約1200万年前の地層から関根氏が発見し65点を採集、その後、内藤氏らにより8点が採集された。1個体分を網羅しており、学術上貴重。	東松山市上野本	個人	平15・3・18	埼玉指第490号	(県立自然の博物館に 寄託)
76	狭山市笹井産出アケボノゾウ骨格化石	56点	新生代第四紀前期更新世に繁栄した小型のステゴドン類の化石。昭和50年、入間川左岸の約200万年前の地層から笹井化石林調査グループにより発見された。狭山市所有のものと同一個体。全骨格標本として学術上貴重。	秩父郡長瀬町長瀬1417-1	埼玉県 (県立自然の博物館)	平15・3・18	埼玉指第491号	秩父鉄道 上長瀬駅
77	狭山市笹井産出アケボノゾウ骨格化石	3点	新生代第四紀前期更新世に繁栄した小型のステゴドン類の化石。昭和50年、入間川左岸の約200万年前の地層から笹井化石林調査グループにより発見された。埼玉県所有のものと同一個体。全骨格標本として学術上貴重。	狭山市稲荷山1-23-1	狭山市 (狭山市立博物館)	平15・3・18	埼玉指第492号	西武池袋線 稲荷山公園駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
78	荒川の青岩礫岩		三波川帯の結晶片岩からなる礫岩。この付近に中央構造線が通っており、西側の三波川帯が隆起した際、結晶片岩が東側の領家帯側に剥落・堆積し、礫岩となったもの。崩れやすい結晶片岩にも関わらず直径1m以上の巨礫が含まれており、世界的にも類例を見ない地質現象。	大里郡寄居町赤浜字川越岩98、101地先 (36.1174, 139.2496)	国 (国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所)	平24・3・16	埼玉指第527号	秩父鉄道小前田駅
79	大山沢のシオジ林		シオジ、カツラ、サワグルミ、トチノキ等が混生する良好な溪畔林。シオジは関東以西太平洋側の山地溪流沿いに断続的に分布し、秩父地方は代表的な生育地。太平洋側の冷温帯における溪畔林を代表する群落であり、学術上貴重。	秩父市中津川字大山沢530の一部 (中津川県有林7林班ろ・は・に・ほ小班) (35.9629, 138.7564)	埼玉県	平25・3・12	埼玉指第530号	秩父鉄道三峰口駅
80	龍穩寺の着生植物群		境内周辺や、寺域山林部の樹木に、湿潤な環境を好む暖地性の着生植物が多数生育している。地形・気候などの面から県内でも有数の生育地と考えられ、学術上貴重。	入間郡越生町龍ヶ谷452-1、452-4 (35.9544, 139.2450)	龍穩寺	平25・3・12	埼玉指第531号	JR八高線東武越生線越生駅
81	中川低地の河畔砂丘群 志多見砂丘		「中川低地の河畔砂丘群」は、榛名山や浅間山の火山灰等に由来する大量の砂が、平安時代～室町時代の寒冷期の強い季節風により、利根川の旧河道沿いに吹き溜められて形成された、全国的にも珍しい内陸砂丘。羽生市～越谷市にかけて、点々と分布する。「志多見砂丘」は加須市志多見・馬内に位置する、幅250m、長さ2.5kmに及ぶ、日本最大規模の河畔砂丘。指定地は東寄りの加須西中学校の敷地内。現状はアカマツ林となっており、南側に面した国道125号線からも、砂丘の起伏や砂の様子を観察できる。指定地以外にも、むさしの村や立正佼成会裏手などに、良好な砂丘が残されている。	加須市馬内3-1、3-3、9-1、9-3、13-1 (36.1360, 139.5710)	加須市	平26・3・11	埼玉指第533号	東武伊勢崎線加須駅、南羽生駅
82	中川低地の河畔砂丘群 浜川戸砂丘		「浜川戸砂丘」は春日部市粕壁に位置する河畔砂丘であり、比較的小規模であるが、考古遺物から砂丘の形成時期・形成終了時期が判明している重要な砂丘の一つ。指定地は神社・公園裏手の小高い樹林地となっており、砂丘上を散策できる。	春日部市粕壁字浜川戸5597の一部ほか (35.9818, 139.7425)	八幡神社 稻荷神社 春日部市	平28・3・15	埼玉指第548号	東武野田線八木崎駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 ・備考
83	中川低地の河畔砂丘群 西大輪砂丘		「西大輪砂丘」は、久喜市西大輪・東大輪・八甫に位置する、幅150m、長さ1.6kmに及ぶ大規模な河畔砂丘。指定地は雷電社・西大輪神社の境内であり、起伏や砂の様子を観察することができる。指定地以外では、県道を挟んだ東大輪浅間神社や、北方の光厳寺付近などに、良好な砂丘が残されている。	久喜市西大輪字原243-1ほか (36.0957, 139.6746)	雷電社・西大輪神社	平28・3・15	埼玉指第549号	JR宇都宮線 東鷲宮駅
84	中川低地の河畔砂丘群 桑崎砂丘		比較的小規模な砂丘列で構成される。中川低地の河畔砂丘群の中では最も北に位置し、同低地の砂丘群の中では最上流部(起点)に位置づけられる。指定地の桑崎三神社境内は、3列の砂丘列のうち東側の1列(長さ450m、幅50m)に位置する。神社の境内では、地表面の砂の状態を観察できる。本殿より北側に砂丘の高まりが残され、神社周辺の道路からの比高(1~1.5m程度)が観察できる。	羽生市大字桑崎字堀内724-1 (36.1767, 139.5117)	桑崎三神社	平29・3・24	埼玉指第556号	秩父鉄道 新郷駅
85	中川低地の河畔砂丘群 高野砂丘		中川低地の河畔砂丘群の中では中流部、大落古利根川の東側に位置する。指定地である八幡神社境内及び隣接する下野の森は、大小2列で構成される砂丘列のうち東側の規模の大きな、長さ2,800m、幅85mの砂丘列上に位置する。指定地では、砂丘の起伏や堆積した砂の様子を良好に観察することができる。周辺は市街地化が進んでいる。	北葛飾郡杉戸町大字下野字山合895-1ほか (36.0574, 139.7021)	八幡神社・杉戸町	平29・3・24 (追加指定) 平30・2・27	埼玉指第557号	東武日光線 杉戸高野台駅